

セフチブテンカプセル Ceftibuten Capsules

溶出試験 本品 1 個をとり、試験液に薄めた pH6.8 のリン酸塩緩衝液(1~2)900mL を用い、溶出試験法第 2 法により、毎分 50 回転で試験を行う。溶出試験を開始し、規定時間後、溶出液 20mL 以上をとり、孔径 0.45μm 以下のメンプランフィルターでろ過する。初めのろ液 10mL を除き、次のろ液 VmL を正確に量り、表示量に従い 1mL 中にセフチブテン約 22μg(力価)を含む液となるように薄めた pH6.8 のリン酸塩緩衝液(1~2)を加えて正確に V' mL とし、試料溶液とする。別に塩酸セフチブテン標準品約 0.022g(力価)に対応する量を精密に量り、薄めた pH6.8 のリン酸塩緩衝液(1~2)に溶かし、正確に 200mL とする。この液 10mL を正確に量り、薄めた pH6.8 のリン酸塩緩衝液(1~2)を加えて正確に 50mL とし、標準溶液とする。試料溶液及び標準溶液につき、紫外可視吸光度測定法により試験を行い、波長 238nm における吸光度 A_T 及び A_S を測定する。

本品が溶出規格を満たすときは適合とする。

セフチブテンの表示量に対する溶出率(%)

$$= W_S \times \frac{A_T}{A_S} \times \frac{V'}{V} \times \frac{1}{C} \times 90$$

W_S : 塩酸セフチブテン標準品の量 [mg(力価)]

C : 1 カプセル中のセフチブテンの表示量 [mg(力価)]

溶出規格

表示量	規定時間	溶出率
100mg(力価)	30 分	80%以上
200mg(力価)	30 分	75%以上